

第16回江東区都市計画マスタープラン2022推進会議【会議録】

開催日時	令和8年1月23日(金) 午前10時00分		
開催場所	江東区文化センター6階第2会議室		
出席者 (敬称略・順不同)	【委員】 <委員長> 志村 秀明 <委員> 市古 太郎、森本 章倫、柳井 重人 【区職員】 都市整備部長、まちづくり調整担当部長、都市計画課長、まちづくり推進課長、地下鉄8号線沿線まちづくり担当課長、再開発担当課長		
【議題】		【所管】	
(仮称)門前仲町駅前エリアまちづくり方針(素案)について		まちづくり推進課	
【議事概要】			
No	該当資料	委員の意見要旨	区の回答要旨
1	資料4-2	公共施設等の整備方針において、今後のパーソナルモビリティや次世代モビリティの普及を踏まえ、複数の移動手段が結節するモビリティハブの整備について、方針に記載することを検討してほしい。	モビリティハブの整備について、本方針への記載を検討する。
2	資料4-2	公共施設等の整備方針図においては、公園やみどりのネットワーク、駅前広場などの配置を示すだけでなく、それらが生態系のつながり(エコロジカルネットワーク)や、歴史・景観といった地域資源のネットワークとして繋げられるような表現があるとよいと感じる。	エコロジカルネットワークや地域資源のネットワーク形成について、本方針内での表現等を検討する。
3	資料4-2	公共施設の整備方針図にみどりのネットワークが示されているが、みどりのネットワークの整備においては街路樹による緑の連続性やポケットパークなど休憩できるところがあるとよい。	/
4	資料4-2	みどりは景観的な視点も重要である。門前仲町では、商店街や飲食店の雑多な雰囲気の中で見られる生活のみどりがまちの資源であり、来街者にとっても新鮮に映るまちの良さと感じる。P37のゾーン等区分図にこのような地域資源を落とし込んでもいいのではないかと感じる。	生活の中にあるみどりについて、本方針内での表現等を検討する。
5	資料4-2	再開発事業によって建てられる建物は高級マンションとなると考えられる。再開発事業の中では難しいと思われるが、エリア全体でアフォーダブル住宅の導入検討がなされるとよい。	/

6	資料4-2	<p>本エリアは、深川不動堂や富岡八幡宮といった観光資源を有するエリアである。景観は重要な要素であることから、まちの魅力向上に向けた景観づくりに注力してほしい。</p>	
7	資料4-2	<p>エリア内の公共施設については、観光の視点も取り入れることで、エリアの魅力向上につながると考えられる。また、モビリティハブについても、交通結節点としての機能に加え、観光の要素を反映するとよいと感じる。</p>	
8	資料4-2	<p>P23 に示されている地域別出火危険度測定では本エリアはランク4とされているが、この評価は町丁目の面積を単位としており、大規模な公園や寺社が含まれている点に留意が必要である。これらを除いて考えると、飲食店が集積する街区では出火危険度がより高くなる可能性がある。そのため、今後、延焼クラスター等を用いたスポット的な火災リスク分析を行い、その結果を踏まえた不燃化対応や延焼防止に資する公共設備の検討が有効ではないかと考える。</p>	